麻佐岐神社　岡山県神社庁　神社検索システム

由緒

当社は吉備の国最古の創建であり、鎮座地の全山を麻佐岐山と称し、山頂の霊石を霊代（ミタマシロ）としているため、本殿は無く、山腹の大祓谷に祓所がある。

延喜式内社であり、本国一宮格を定められた。また、岡山藩主池田氏においても、旱魃の時は祈雨の祈願所と定められ、非常の災害流行病などが起こった時には、藩主が祈願の奉幣を行った。享保１８丑歳５月岡山藩主池田継政の自筆による五穀成就祈願の守箱が現存する。

式内２２社の明細帳には「旧久代村に麻佐岐田の遺跡あり」と記している。

祭神は備中誌には天照大神、吉備郡神社誌には大国魂神とあり、明治４０年に村社に列格する。

「備前国式内書上考録」の内の「備中国式内１８社之内４座岡山藩支配所分書上」に「山上に霊石二顆大小二つ粗なる石の玉垣もてかこひ前に一間四面の拝殿立てあり当山は郡中の高山にて四方の眺望甚よし一山樹木なく絶頂に松樹四五十本あるのみなり。如此高山にてうつくしき山なれば社はなくてただの麻佐岐山を神体として斉き祭れるものならんか」と記されている。

その姿は今は緑深くはなっているが、南方の眺めは素晴らしく、遠く瀬戸内海が展望される。

神座（磐座）

麻佐岐神社のご祭神は古来この磐座（巨岩）と云われ、磐座信仰の姿が今に残り、社地は極めて狭く、それらしい社殿の所在した跡も見当たらず、現在簡素な板囲いの幣・拝殿兼ねた１棟が残るのみである。

磐座とは岩石などに神を招いて祭祀を行う神聖な磐境、岩肌のある場所や見晴らしの良い高山や容易に近づけない山頂などである。

当社は清浄な磐座を聖地として注連縄を掛けて、古来から守っている。

前の写真へ次

基本情報

神社コード	10037
神社名	麻佐岐神社（マサキジンジャ）
通称名	まさきさん
旧社格	村社
鎮座地	〒719-1142 総社市秦4035
電話番号	
FAX番号	
駐車場	有　10台
御祭神	大國魂神
御神徳	五穀豊穣，国家安泰，家内安全
主な祭典	４月第４日曜日：春季大祭 ７月１１日：夏祭
宮司宅電話	0866-95-9933

URL

e-mail　kumagaku@m11.alpha-net.ne.jp

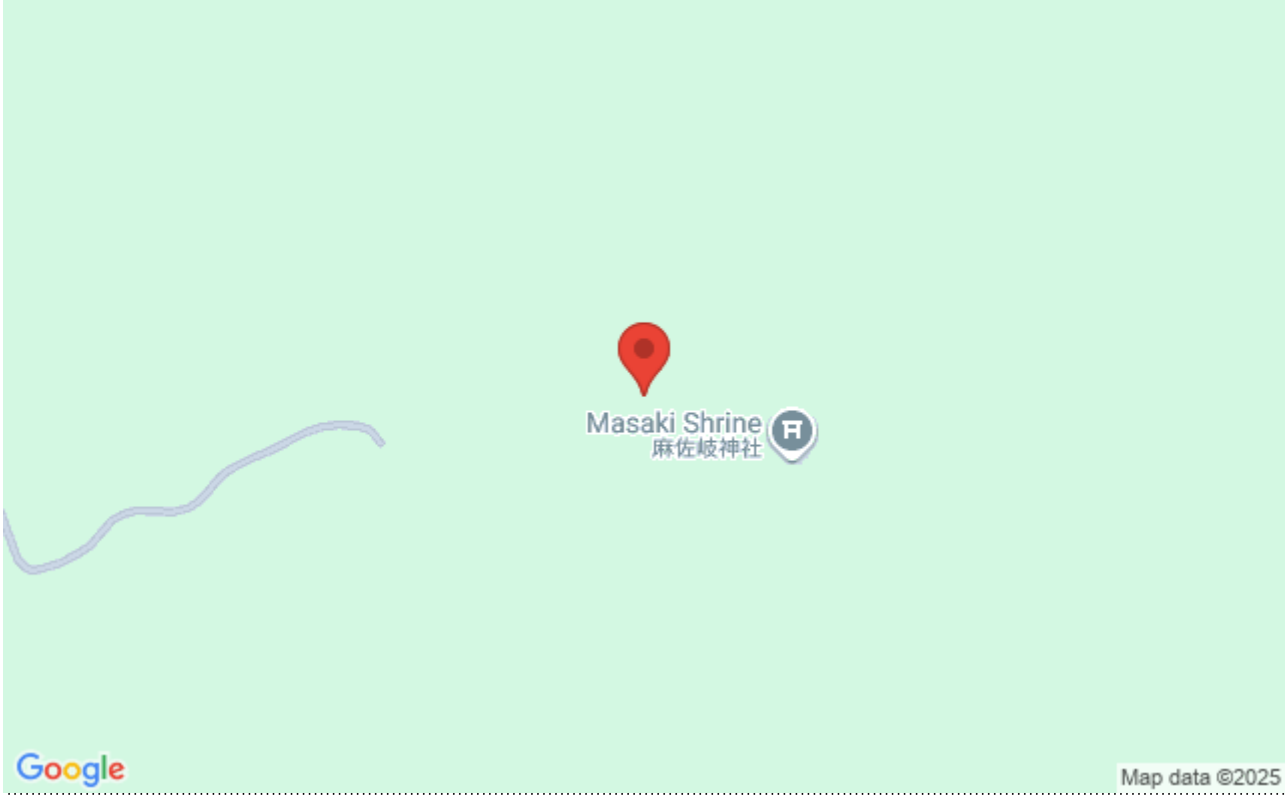
特記事項　本殿が無く磐座祭祀を行う。
古代祭祀を継承している神社。

氏子地域

交通アクセス

ＪＲ伯備線豪渓駅から車で福谷、大野経由３０分 岡山厚生年金休暇センターから徒歩４０分

検索画面に戻る



© 2016 Okayamaken Jinjacho